

(地 557)

令和 3 年 3 月 11 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

公益社団法人 日本医師会常任理事

長 島 公 之



NBCR対策推進機構 第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、NBCR対策推進機構による第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」が開催されることとなりました。

本講習会には、本会より小職が講師の一人として参画する予定となっております。

講習会の開催日および締切日は、下記のとおりです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

NBCR対策推進機構

第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」

開催日：令和3年5月30日（日） 9：00～17：00

締切日：令和3年5月10日（月）

定員 会場：10名 オンライン：100名

費用：NBCR対策推進機構の個人正会員：1.5万円

NBCR対策推進機構の団体会員：1万円

非会員：2万円

場 所：エピオス セミナー・ルーム

東京都江東区富岡1-26-1 飯田ビル5F

第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害 対策担当者養成講習会」(案)

ー消防職員等や医療従事者のバイオ災害対策担当者が知っておくべきことー

(1 級認定コース・日医生涯教育制度 5.5 単位認定) (申請中)

後援：公益社団法人 日本医師会 (申請中)、全国消防長会 (申請中)

開講 (オンライン及び会場参加) のご案内

皆様ご承知の通り、中国に端を発した新型コロナウイルスの流行が猛威を振るい、世界各国、とりわけ、日本でもその流行・拡大防止に全力を挙げておりますが、その他、最近、エボラ出血熱やデング熱、SARS(重症急性呼吸器症候群)、鳥インフルエンザ、更にはジカ熱、MERS(中東呼吸器症候群)などの新興・再興感染症の世界的流行や炭疽菌、ボツリヌス毒素、リシンなどを使用した生物テロなどの生起により、生物災害対策の重要性が改めて指摘されております。特に、感染力が強いと言われる新型コロナウイルスの世界的な流行・拡大防止対策やわが国の政府を挙げての感染防止対策は、全国民に改めて対応重視の意識を高めております。また、致死率の高い新興感染症として発見された MERS、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)やエボラ出血熱などの世界的流行に対しても、感染症対策の重要性が改めて指摘されております。

この度、別紙のとおり第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」(消防職員等や医療従事者のバイオ災害対策担当者が知っておくべきこと)をオンライン及び会場参加方式で再度開講することと致しました。今回の講習会でも、前回同様、生物テロ・バイオ災害対処、特に新型コロナウイルス対策に真に役立つ第1級の危機管理コース(生物テロ・バイオ災害対策責任者1級認定)に致しました。ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

令和3年3月 吉日

NPO 法人 NBCR 対策推進機構

会 長 片 山 虎之助

理事長 井 上 忠 雄

第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」について

ー消防職員等や医療従事者のバイオ災害対策担当者が知っておくべきことー

主催 NPO法人 NBCR対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会(申請中)、全国消防長会(申請中)

■ 趣旨

東京オリンピック・パラリンピックの開催が目前に迫りました。過去のオリンピック時に生じたテロ事件或いは米国で生じた炭疽菌郵送テロ事件やリシン郵送事件等を考えると安全・安心を確保して東京オリンピックを成功させるためには官民挙げてテロ対策やバイオ災害の予防に万全を期さねばなりません。

また、この度、中国に端を発した新型コロナウイルスによる肺炎等の流行・拡大防止は、東京オリンピック・パラリンピック開催にも少なからぬ影響を与えております。我が国では、新型コロナウイルス対応を始め、インフルエンザやSFTS等の感染症による被害等も懸念されております。

バイオ災害では、この度のコロナウイルスの対策で経験したように、検知・警報、防護、除染、医学的措置の中でも特に医学的対応が重視されます。

今回は、この度のコロナウイルス対策の教訓等を踏まえ、現在日本の第一人者としてご活躍中の先生方を講師に迎えオンライン及び会場参加方式による第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」を下記の通り開催いたします。今回の講習会も、新型コロナウイルスに直面した医療の先生方や消防職員等に対して行う生物テロ・バイオ災害対処に特化した第1級の危機管理コースです。大変お忙しい折柄、恐縮に存じますが、奮ってご参加ください。

■ 講習対象者

救命救急医、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、消防関係職員、企業危機管理担当者、自治体危機管理関係者、その他講習の受講を希望される方

■ 認定証発行

講習修了時認定試験を行い「生物テロ・バイオ災害対策責任者認定証(1級)」を発行し当機構での認証を行います。

■ 講習日時

日 時	受付締切	定 員
令和3年5月30日(日)09:00～17:00	5月10日(月)	・オンライン受講:100名 ・会場受講:10名

■ 細 部

・ カリキュラム：生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会カリキュラム(案) 付紙ー1

※ 申込：オンライン受講の場合はEメールにて、弊機構事務局宛<info@nbc-raisaku.com>にお申込みください。申込方法は、Eメールタイトル「5月バイオ対策講習会申込」、メール本文に、①オンライン受講か会場受講のどちらか一方を明記。②受講者氏名(ふりがな)、③所属、④請求書あて名、⑤講義資料郵送先となる郵便番号・住所、⑥電話番号、⑦Eメールアドレス、⑧弊機構の会員有無を記載お願いします。

会場受講の場合は、Eメール・FAX(FAX申込書 付紙ー2)どちらでも申込可能です。

※ 場所：〒135-0047 東京都江東区富岡1-26-15 飯田ビル5F エピオスセミナー ルーム 付紙ー2

※ 締切：先着定員になり次第申込を締め切り。オンライン受講者・会場受講者の合計が30名以下の場合は延期し順延の通知。

※ 費用：2万円(個人正会員：1.5万円) 会場受講・オンライン受講、金額に差はありません。

・ 連絡先：NBCR 対策推進機構

〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-7-9 大森ビル2階

電話：03-5829-6187 FAX：03-5829-6197 e-mail：info@nbc-raisaku.com

担当：事務局 執行役員 阿部剛士

■消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会カリキュラム(案)

日	時 間	科 目	講 師
令和3年5月30日(日)	09:00～09:10	オリエンテーション	弊機構理事長 工学博士 井上 忠雄
	09:10～10:00	1 災害と医療 ーバイオ災害対策の重要性ー	日本医師会 常任理事 長島 公之 先生
	10:00～11:00	2 最近の生物剤の動向	防衛医科大学校 学校長 四ノ宮 成洋 先生
	11:00～12:00	3 感染制御としてのバイオテロ対策	防衛医科大学校 広域感染症疫学・制御研究部門教授 加來 浩器 先生
	12:00～12:50	休 憩 (昼 食)	
	12:50～13:40	4 生物テロ・バイオ災害医療対策	厚生労働省関東信越厚生局医療課 統括指導医療官 千先 康二 先生
	13:40～14:30	5 バイオ災害対処防護機資材	科学警察研究所 法科学第一部生物 第5研究室 主任研究官 武藤 淳二 先生
	14:30～15:30	6 新興感染症からみた生物テロ・バイオ災害 対策	国立感染症研究所 ウイルス第一部長 西條 政幸 先生
	15:30～16:30	7 新型感染症への備えー新型コロナウイルス を中心にー	東京都災害医療コーディネーター 杏林大学医学部主任教授 高度救命救急センター長 山口 芳裕 先生
	16:30～16:35	休 憩	
	16:35～16:55	8 試 験	
	16:55～17:00	修了証 ならびに 認定証 付与	

*会場、講義の順序、講師については、やむを得ない事情で、変更する場合がありますので、ご承知おきください。

第8回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」
会場受講専用申込書

申込締切	令和3年5月10日(月)		
申込先 FAX	03-5829-6197		
申込者(所属・団体名、 取り纏め担当者氏名)			
受講者	氏名(ふりがな) ()	所 属	職 名
※ 楷書にて分かりやすく ご記入下さい。	()		
所在地	〒		
連絡先	Eメールアドレス(必須): 電話番号(必須): FAX 番号:		
会員の方は ○でお囲みください	NBCR 対策推進機構 : 個人正会員 ・ 団体会員		
要望事項・請求書の 宛名等			

●会場受講場所: (株)エピオス セミナー ルーム

〒135-0047 東京都江東区富岡 1-26-15 飯田ビル 5F

(地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」から徒歩約8分。駐車場はありません。)



連絡先 NBCR 対策推進機構 TEL:03-5829-6187 Eメール:info@nbc-r-taisaku.com 担当: 阿部剛士